

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号 600-8652

第 96 回京銀アンケート・サーベイ

「特別調査」結果のご報告

～京都企業の 2017 年度景気見通しと経営課題について～

京都銀行と京都総合経済研究所では、「京都企業の 2017 年度景気見通しと経営課題について」の特別調査を実施いたしました。その調査結果がまとまりましたので、ご報告申し上げます。

<要 旨>

2017 年度の景気見通しについては、3 割弱の企業が「回復」または「緩やかに回復」と前向きな見方をしていますが、「足踏み、横ばい圏で推移」とみる企業も 5 割を超えました。また、自社の業績見通しについては、3 割弱の企業が強弱はあるものの改善を見込んでいます。

企業の海外展開の取り組み状況については、4 割強の企業がなんらかの形で海外展開に取り組んでいます。

また、円安が自社の業績に与える影響については、メリットの方が大きいとした企業が 1 割強あった一方で、デメリットの方が大きいとした企業は 3 割弱に上り、メリットが大きいとした企業を上回るという結果となりました。

さらに、設備投資計画については、増額とした企業は約 15%にとどまり、前年度並みが約 37%のほか、減額（約 12%）および実施しない（約 19%）で 3 割を占めるなど、引き続き慎重なスタンスが大勢となっています。

なお、人員計画については、3 割程度の企業が人員増加を計画しており、また、賃上げについては、賞与対応を含む賃上げを実施・検討するという企業が全体の 5 割を超え、中小企業においても同様に 5 割を超えるなど、人員・人材政策については総じて前向きな回答が目立っています。

以 上

なお、本調査は、「第 96 回京銀アンケート・サーベイ（2 月調査）」と同時に『特別調査』として実施し、分析は(株)京都総合経済研究所が担当いたしました。